

# 5年算数「平行四辺形と三角形の面積」

第6時(9時間取り扱い)

コンテンツを見ると、  
倍積変換がイメージできる！

## 本時の授業の概要

前時において学習した三角形の面積の求め方をもとに、高さが三角形の外側にくる場合にも、三角形の面積を求める公式が適用できることを考える。高さが三角形の外側にくる場合の底辺と高さの関係を把握することは難しいため、ていねいに取り扱い、底辺と高さの関係の理解が深まることをめざす。

## 本時の目標

高さが三角形の外側にくる場合にも、三角形の面積を求める公式が適用できることを理解する。

## 活用場面

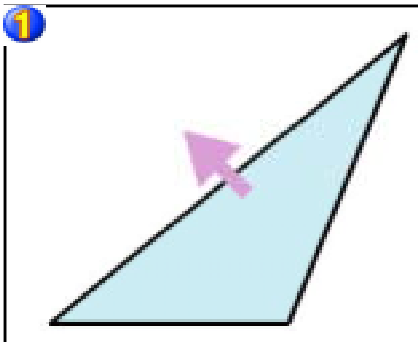
課題発見

見通し

一般化

まとめ

習熟



どうすれば三角形の面積を求めることができるか確認する

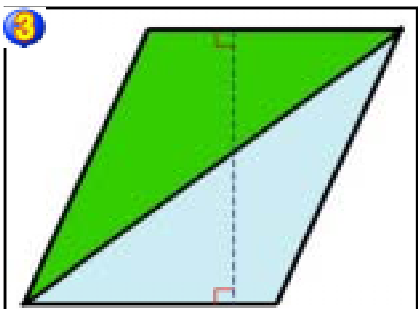
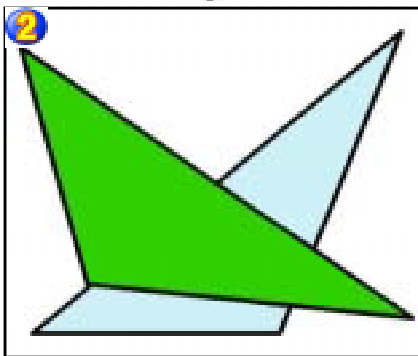
① T: この三角形は、このままでは面積を求めることができませんね。どんな図形にすれば求めることができますか。

C: 正方形・長方形・平行四辺形・普通の三角形  
T: 工夫して変形すると面積を求めてみましょう。

2つの三角形を組み合わせると平行四辺形になるコンテンツを提示し、どのようにすればよいのか考える

② T: もう1つ三角形が出てきたけど、このあとどうなるのだろう

C: 2つが組み合わされて、平行四辺形ができる  
T: 平行四辺形の面積なら求めることができますね。でも求めるのは三角形の面積です。どうすればいいですか。  
C: 平行四辺形の面積を求めて、それを半分にする。  
T: 実際に求めてみましょう。できたら、他の方法でもやってみましょう。



## 【ワンポイントアドバイス】

3角形を2つ組み合わせて平行四辺形ができるデジタルコンテンツを途中で止め、どのようになるのか児童の中からアイデアが出てくるようにする。

解決の見通しを持つことができた児童は、最後までデジタルコンテンツを見せずに自分で取り組ませてよい。

## 【サイト情報】

<http://kids.gakken.co.jp/campus/academy/amagasaki/h13-14/contents/vol1/p95-01-1.html>

(尼崎デジタルコンテンツ研究会)